

## パピヨン登山犬二代目写真集3 人それぞれのセラピ - ドッグ

**セラピ - ドッグ**とは**アニマルセラピ** - (動物介在療法) に貢献している犬のことである。療養中のご老人等の心理療法の一つとして、欧州で発達し、日本にも導入された。

犬との触れ合いで人の心がいやされ、病気がなおり、元気になるのだ。日本には正式な認定を受けてない犬も含め、約800頭いるそうだ。

2004年現在、日本に約1,600頭の飼い犬がいると推定されている。その殆どがかわいがられて育てられ、大切に飼われている。

一般に犬もペットと呼ばれ、金魚やフェレットなどの他の愛玩動物と同じような取り上げ方をされることが多い。何か違和感がある。質の異なるものを無理に一纏めにしたようで、玉石混交の感がある。

犬はペットとはいわないで、犬と言ってもらいたい。犬は人との関わりでは、歴史的にも他のペットとは人への忠誠心、貢献度とか、品位品格などが格段に違う。伴侶と呼んでもおかしくない犬も多い。

オオカミの子供を育てたことに始まり、進化発展し、やがて、人の好みで品種改良されて、現在の小型犬ブームに至る。何千何万種の犬がいるのだろうか。犬の歴史は人の歴史と切り離すことができない。その間、犬は常に人に忠実で、実利だけでなく、心に癒しを与えてくれた。



生後3ヶ月 1350g



生後5ヶ月 2250g

長い歴史の中で、犬の遺伝子には人への忠誠心を示すDNAが組み込まれたのであろう。

小言一つ言わないで、惜しみない無償の愛を与えてくれる。人は見返りのない無償の愛を他に与えることはできない。何かを密かに期待している。犬の飼い主に対する愛は純真で駆け引きがないのだ。もらうことよりも、与えることに喜びを感じる愛なのだ。

愛犬が永眠したときの悲しみは、肉親のそれや、どの失恋の悲しみよりも大きいという男の言葉も頷ける。ものも言えず、ただ、飼い主に無償の愛を与えることを喜びとして生きてきて、急に終焉の時を迎えたのかと思うと涙が止めどなく流れる。他に言葉が見つからず、「ありがとう」、「ありがとう」とだけ言っていると頭の芯まで痛くなる。折に触れ、目がかすむ。もっと、かわいがる方法はなかったのかと思ったりもする。

(パピヨン初代登山犬のチビちゃんは2003年11月18日午後3時、風呂上がり1時間後に、飼い主の腕の中で数分で急逝。老衰と言うには元気だった。享年15年40日。アライグマの毛皮を着たまま、庭の灯籠の下で熟睡している。)

犬は生まれながらにして、人の心を癒してくれるセラピ - ドッグとしての素質を持っている。しつけと育て方で、人それぞれのセラピ - ドッグになる。飼い主の好みに合ったセラピ - ドッグだ。犬とその飼い主が和気藹々として、たのしく暮らすことが

できればよいのだから、セラピ - ドッグ協会の認定など必要ない。パピヨンのパナちゃんは飼い主だけでなく、多くの人に無償の愛を与えて、喜べる素質がありそうだ。生まれながらのセラピ - ドッグかも知れない。生まれが良いとなると、あとは育て方次第だ。

他の犬の飼い主も、同じことを思っているかも知れない。自分の愛犬は地球上で最もすばらしい犬だと。そうだ。そう思うことが一番いいことなのだ。

最良の愛犬から、いつも無償の愛を受けていると思うと、心がなごみ、幸せの気分で暮らせる。うるおいとやすらぎのある心豊かな生活ができる。

人それぞれのセラピ - ドッグは、皆それぞれ世界一のセラピ - ドッグなのだ。



西東京市文理台公園。 ノ - リ - ドで走り回って遊ぶ二匹のチワワ（左）とパピヨン。



チワワのベルちゃんの飼い主。 ノ - リ - ドに賛同。カメラにも気安く応じる麗人。



パピヨンが喜々として抱かれ、若く健康的な笑顔が真冬の日差しに暖かく映える。



2, 3回会っただけで、最良の友のように転び回って遊ぶ二匹。白毛が土で茶色に変色。



出会った途端に歓喜のじゃれ合い。



ベルちゃん(黒)生後約7ヶ月、パナちゃん約5ヶ月。気が合うのもうなずける。



ノ・リ・ドでパナちゃんと遊ぶようになってから、ベルちゃんはしつけがしやすくなったとのこと。



両犬とも嫉妬心はない。姉妹のように仲良く遊ぶ。



おとなしいコ - ギ - と「オスワリ」中



ベドリントンテリア イングランドの猟犬の改良種



ポメラリアンとセントバ - ナ - ドの子供 (右)



大きめのキャバリアと「オスワリ」中



ブルテリア ブルドックとテリアの交配種



トイプ-ドル まるでぬいぐるみでおとなしい。



開設 2004.2.14



[愛犬と登山](#)



[親友ベルちゃんとの写真集](#)